

いちのみやの芸術文化



西中野渡船未来予想プロジェクト
2024年11月30日(愛知県側から撮影)

- 特集「中野の渡し～木曾川最後の渡し船～」
- エッセイ「黄金の人生の一ページを～子や孫への贈り物～」
詩部門 一宮現代詩協会 清水 義晴
- 役員紹介・加入団体一覧
- 文化情報

2025.6

第67号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

中野の渡し 木曾川最後の渡し船



木曾川最後となった「中野の渡し」

かつては一宮市内の木曾川には、河田・大野・わたり・北方・宝江^{ほうえ}・里小牧・玉ノ井・奥町・起・駒塚・加賀野井・西中野の十二の渡し船がありました。橋が開通すると、西中野以外の渡し船は廃止されていきました。西中野の渡し船は、通称「中野の渡し」と言われますが、正式には愛知県営西中野渡船場といえます。今年、五月二十四日に新濃尾大橋が開通することで、中野の渡しもその役割を終えることとなります（運航は二〇二六年三月までの予定）。詳しい記録が残されていませんが、中野の渡しには、江戸時代から続く長い歴史があります。

江戸時代から続く渡し船「中野の渡し」

戦国時代の天正十四年（一五八六）の木曾川の大洪水により、尾張國中島郡中野村を木曾川が貫いたため、中野村が二つに分かれ、対岸は向^{むか}中野・渡中野と呼ばれました。中島郡には同名の村があるため、西中野村とも呼ばれました。渡し船は中野村が分断された頃から始まったとも考えられますが、詳細は不明です。江戸時代後期、天保十二年（一八四一）の村絵図（図）には、「木曾川渡し 壱ヶ所 但自分渡 同川巾 四百廿間（約七六四m）」、「古境 多良海道 巾九尺（約三m）」とあり、木曾川には渡し船の絵が描かれています。多良は、養老山地を越えた現在の岐阜県大垣市上石津町にあります。多良の領主は交代寄合（大名に準じる家格）の高木家で、江戸への参勤交代で多良街道（東は市川房枝記念広場で美濃路に接続）を通行し、その



▲図 中島郡中野庄中野村絵図面（部分）（愛知県図書館蔵）
天保12年（1841）

一部であった「中野の渡し」を利用しました。そのほか、『尾張名所図会』には美濃の八神や駒塚等へ向かう際に利用されたとあります。

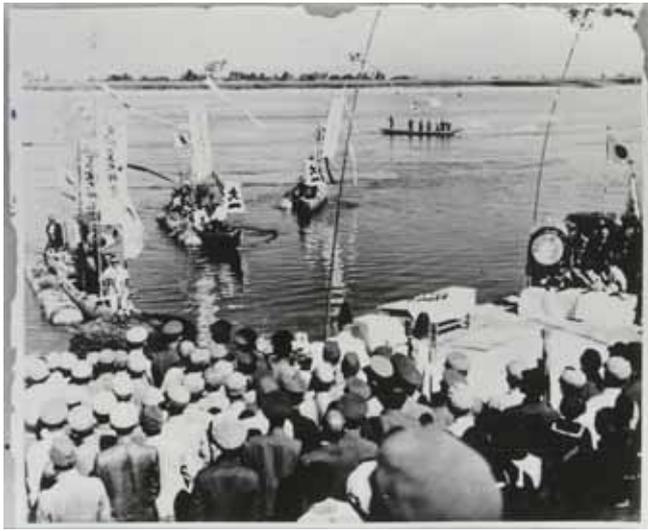
「中野の渡し」の利用目的と現在

かつては、通勤・行商・帰省・買物などの生活手段のほか、おちよぼさん（千代保稻荷神社）への参詣、時には刑事や花嫁も乗船しました。

ダムや堰^{せき}がなく舟運が盛んな頃は、筏流し^{いばな}・帆掛け船・ポンポン船・定期船（笠松く起^く桑名）、伊勢神宮（神木の川流しなど上下の様々な通行も見られました）。

「中野の渡し」が愛知県営になったのは、昭和十二年（一九三七）で、運営にかかる費用は愛知県と岐阜県で折半しています。

昭和三十一年（一九五六）に上流に濃尾大橋が、昭和五十一年（一九七六）に下流に馬飼大橋^{まかい}が開通して、利用客が減少し、現在は観光



▲第59回伊勢神宮式年遷宮（最後の御神木流送）
昭和16年（1941）西中野渡船場

目的での利用がほとんどです。定期運航は残りわずかとなってしまいましたが、伊吹山から養老山脈の景色や木曾川の渡り鳥などの自然に接する贅沢な時間を楽しめます。

中野の渡しの乗船方法

船頭さんは、一宮市側の船頭小屋で待機しているのので、声をかけて乗船します。羽島市側からは、旗を掲げて迎えを待ちます。乗船は無料です。行き方は、一宮市側は名鉄一宮駅から西中野行（終点下車）の名鉄バスがあり、自家用車は堤防上の船頭小屋周辺に駐車できます。羽島市側はコミュニティバス石田停留所から徒歩十五分、また川側の堤防道路下に駐車場があります。月曜日と木曜日が運休で、ほかにも不定期で運休があり、運航日でも休憩時間がありますので、愛知県一宮建設事務所のウェブサイトでご確認ください。

（一宮市尾西歴史民俗資料館学芸員 神田年浩）



▲岐阜県側から見た新濃尾大橋と西中野渡船場



▲愛知県側の西中野渡船場

▲岐阜県側の西中野渡船場

■参考文献
中山雅麗著『木曾川の渡し船』、『尾西市史 村絵図編』

■お知らせ

一宮市尾西歴史民俗資料館夏季企画展「中野の渡し」

二〇二五年七月十九日～八月三十一日

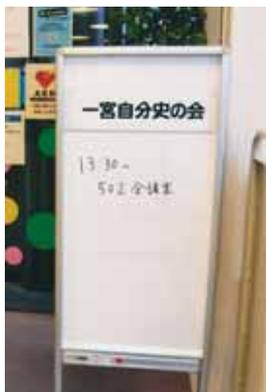
休館日：月曜日（七月三十一日・八月十一日は開館）

七月二十二日、八月十二日

黄金の人生の二ページを く子や孫への贈り物く

詩部門 一宮現代詩協会 清水 義晴

一宮市立中央図書館の利用団体に六団体が所属する。その中に「一宮自分史の会」がある。図書館の会議室で毎月第二水曜日午後一時三〇分から定例会が始まる。一宮自分史の会の設立の経緯は、平成十二年二月に旧豊島図書館で伊藤芳昭講師（故人）をお招きして自分史の書き方を学んだことが発足に繋がった。一か月の間に自分の歴史を振り返る。出身地、生いたち、趣味、家族、恋愛、お見合い、職場、子や孫、曾孫等々話題はつきない。発表の形式は自由（縦書、横書、手書き、パソコン、字数）。



会場案内

十人十色、自分の経験した事のない話題に、いつも感動する。同時に育った高齢者の仲間のため、時には時代を共有して、昔話に花が咲くことも。豊かな時間はあっという間に過ぎていく。メンバーの人柄をHさんが紹介した。

一番手は、口火を切るにこれ以上ふさわしい人はいない。腰を据えてきちんとした自分史に取り組んで、乗りに乗っている。自分の



一宮自分史の会会員の皆さま①

背負った時代背景の中に個性を存分に混ぜ込んで、人となりが鮮やかに浮き上がり、読み物として面白い。実力の人という感じだ。

一番手、茶道に精通されておられる。孫曾孫は目に入れても痛くない存在の人。

三番手、前回入ったばかりの八十歳、この方の文が泣かせた。学校の始まりから苦労続きで、心身の不具合に苦しみながら、それでも健気に頑張つて、今は幸せと思うところまでこぎつけた。ニコニコ笑っている表情の裏に沢山あつ



一宮自分史の会会員の皆さま②

たつらい事を、文にして表現出来たことに拍手。

四番手、ニューフェイス、まずは順序よく、生い立ちや環境の紹介、きちんと書かれた文章から、先ず、相応の人柄が伝わってくるようだ。以後何が飛び出すのか、精進なされるのが楽しみである。

五番手、強烈な書き手である。

一見もの静かな彼女の本質は、実に豊かに知的にも芸術的にも、意識の高いもので埋まっているのが文章ににじみ出ている。入会した最初から、すでに世界を持っていた。学ぶべきことが多い女性だ。

最後は、実に心配りが行き届き、疲れた顔も見せずに雑務を引き受けてくださっている。書かれる文章は、人柄そのものを正直に表され、誠意の塊のような方。世のため、人のためを惜しまない。

一宮自分史の会で話される各々の話題は、会員だけでなくその家族にも共有される。知見の広がり、は世代を超えていく。これからも、子や孫のため、話題沸騰切磋琢磨してまいります。一宮自分史の会にご興味がありましたら是非ご参加ください。

令和7年度

一宮市芸術文化協会役員

文学部					部	役職名	氏名	備考(部門/団体名)
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部長	中野正康	中野正康	一宮市長
清水義晴	山本範子	寺澤澄男	光崎賢治	足立絹子	氏名	加藤昌義	加藤昌義	茶道・華道部門/同派会
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名	小島祥子	小島祥子	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会
			○			不破皓	不破皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
						不破務	不破務	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
						浅井英仁	浅井英仁	吹奏楽・管弦楽部門/一宮市民吹奏楽団
						大島麻琴	大島麻琴	洋画部門/一宮美術作家協会/洋画部
						川合順夫	川合順夫	短歌部門/真清短歌会
						武鹿千代	武鹿千代	写真部門/一宮写真協会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

社会文化部	芸能部		音楽部						美術部				部		
茶道・華道部門	芸能部門	舞踊部門	吹奏楽・管弦楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部門	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
○	○					○							○		部長
脇田まつ子	木全修	花柳こま希久	今川卓一郎	岩田法智華	柴山友佳	高間加代子	林昭	脇田美登里	夫馬勲	村上史麗	林節子	三輪修	高橋弘子		氏名
一宮華道連盟	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮ンテイ合奏団	特定非営利活動法人 旭雅楽会	一宮音楽家協会	濃尾岳風会 一宮支部	一宮謡曲同好会	一宮二曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 / デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 / 洋画部	一宮美術作家協会 / 日本画部		団体名

(敬称略)

加入団体一覧

(2025年5月現在)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所	
			活動内容	
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、年4回同人誌(蒼原)を発行し、楽しんでいます。	
		俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第3日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。
	北方俳句会		毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館 自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。	
	本町俳句会		毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館 四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。	
	ききょうの会		毎月第1・3水曜日：午後1時～ 大志公民館 四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。	
	千秋俳句クラブ		毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館 当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。	
	びさい南俳句会		毎月第1金曜日：午後1時～ 三条つどの里 当日は俳句会をします。会の終わりに久保武氏の講評があり、折々の吟行会に参加します。	
	尾西仏手柑俳句会		毎月第2日曜日：午後2時～ 応蓮寺 大徳公民館でも活動しています。第4日曜日午後2時から3時30分まで。ご参加お待ちしております。	
	川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター 句会と川柳教室ならびに柳誌の発行により、文芸としての川柳を楽しみ、普及をはかっています。	
	狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館 一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。	
	詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問い合わせください。 詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。	
		一宮漢詩清聲會	毎月第1火曜日：午前10時～ 中央図書館 自作の漢詩を各自持ち寄り、互いに読み合っ、より良い作品へ仕上げる添削等を検討します。	
	美術部	日本画部門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問い合わせください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
			美朋会	毎月第2火曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター 水墨画、日本画、水彩画等の展覧会を年1回とスケッチ旅行を年2回開催しています。
洋画部門		一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問い合わせください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。	
		尾西絵画クラブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切に、中央の公募展をめざして精進します。	
		尾西作家協会	事務局へお問い合わせください。 絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展を開催します。	
		楽しく描こう会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 三条公民館(尾西生涯学習センター) 本会も歩み始めて22年目。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間の作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。	

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
美術部	洋画部門	ブルシャンプルー	毎月第1・3木曜日：午前9時～ 朝日公民館 絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に活動しています。
		山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 趣味の一環で、水彩画・油絵など楽しく描き、年1回展覧会を開催しています。ご加入お待ちしております。
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 愛好者により、水彩画を学んで、地域の人との交流をして、成果を作品展にて発表します。
		びくーるアートサークル	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 千秋公民館 初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。
		グループ創	毎月土曜日3回(変則)：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 大島先生の指導のもと、各自自由課題で楽しんでいます。
		アクアの会	毎月第1・3火・水曜日：午後1時～ 三条公民館(尾西生涯学習センター) 第2・4火曜日：午後1時～ 神山公民館 風景を中心に四季の移ろいを感じながら、透明水彩画を学びます。年1回展覧会を開催します。
		みづ系会	毎月第2・4火曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター 現物をよく見て描く事に注意して、水彩画を楽しんで学んでいます。一緒にやりませんか。
		IBK美術作家	事務局へお問い合わせください。 絵画の発表を通して美術文化の発展に協力します。
		私の風景	事務局へお問い合わせください。 年に一回の展示会に向けて水彩・油彩・日本画などの制作を行います。
	デザイン・工芸・彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問い合わせください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		陶順会	毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日西つどいの里陶芸室棟 陶芸を通じて文化の振興に寄与し技術の向上に努めるとともに、会員相互の新睦を図っています。
		尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午前10時～ 一宮市市民活動支援センター 尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を発表しています。
		尾西面打会	毎月第1・3土曜日：午前9時～ 旧湊屋文右衛門邸 古面の能・狂言面等を手本に、角材から型紙を使い彫り、胡粉を塗り彩色し完成させています。
		一面会	毎月第2・4土曜日：午前9時～ アイブラザー宮 工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。
		アトリエ・Nayumi	事務局へお問い合わせください。 白木にアクリル絵具で描くトールペイントを皆で楽しんでいます。
	書部門	公益社団法人 中部日本書道会一宮支部	事務局へお問い合わせください。 『書』を通じて『地域文化の発展向上』と『心の豊かさ』をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。
		書道研究麗筆会	事務局へお問い合わせください。 書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研鑽しています。
	写真部門	一宮写真協会	事務局へお問い合わせください。 写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。(写団尾張、中日真澄クラブ、フォート・あい、写友ひまわり、翔の会・一宮)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所
			活動内容
音楽部	邦楽部門	一宮三曲協会	事務局へお問い合わせください。 三曲協会は絃方9社中尺八5社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。(松ヶ枝会、箏睿会、筑紫和邦会、箏富貴会、筑紫加豊会、統山会、遙音会、慶山会、竹茂会、三山会、千早会)
		里音会	毎月第2・4土曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター 箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。
		すみれ箏の会	月4回 講師宅 箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。
		美友会	(随時) 講師宅 邦楽を愛する仲間と活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。
		藤乃会	(随時) 講師宅 古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出会いをお待ちしています。
		一宮三味線川崎会	毎週金曜日：午前9時30分～ 渡辺節子宅 民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。
		脇田会	(随時) 脇田美登里宅 箏や三絃や十七絃と尺八や洋楽とコラボ演奏し、演奏会やイベントに楽しく演奏出演しています。
		謡曲部門	一宮謡曲同好会
	濃尾岳風会一宮支部		市内4教場で活動しています。詳しくは事務局へお問い合わせください。 年間行事として年2回の発表会(一吟会1月と6月)を通じて各教場の交流を含め練習成果の研鑽。
	吟剣詩舞部門	吟道関心流愛知県本部真和支部	事務局へお問い合わせください。 年に4回の発表会と県大会や全国大会のコンクール(競吟)を行っています。
		神道一刀流剣詩舞会	事務局へお問い合わせください。 勇壮な剣舞、艶やかな詩舞の伝統芸能により歴史を学び、舞台や慰問等を楽しんでいます。
		柳翠剣詩舞道会	毎週水曜日：午後1時～ 小信中島つどいの里、毎週金曜日：午後1時～ 小信中島公民館 吟剣詩舞道は日本古来の伝統芸能です。「礼と節」をその心とし舞う事に喜びを感じ精進しています。
		山瑩会	毎週月・火・水・金曜日 山瑩会教室、開明公民館 他 吟詠を通じ、優れた詩人の心情・思想にふれ共感し仲間との絆を深めています。又発声により健康の保持に努めています。
		一宮音楽家協会	事務局へお問い合わせください。 日頃は個人で研鑽している。サロンコンサート(5月中旬)定期演奏会(10月下旬～11月上旬)開催。
	声楽・合唱部門	一宮合唱協会	事務局へお問い合わせください。 コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。(一宮マザーズ・エコー、女声合唱団コール・フリーデ、コーラスたんぼぼ、北方コーラス歌音、一宮合唱団くさびえ、ミモザコーラス、合唱塾、コーラス沙羅、尾西混声合唱団、男声カルテットG5、ローザ・ロッサ)
		一宮第九をうたう会	毎週火曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター 「第九」をはじめ各種の演奏会と練習を通じて地域文化の向上に貢献することを目的に活動中。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
音 楽 部	器 楽 部 門	琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	月4回 金曜日：午後1時～、土曜日：午後1時～ 尾西ふれあい広場 懐かしい童謡や流行歌など大正琴の音色を楽しみながら、芸能祭出演に向けて練習に励んでいます。
		琴 城 流 大 正 琴 琴 幸 会	月2回 土曜日：尾西生涯学習センター、月2回 金曜日：小信中島公民館 日本の言葉を大切にしながら長く歌い継がれる曲に心を癒され、行事を励みに合奏を楽しんでいます。
		安 美 & コ ン プ リ オ	事務局へお問い合わせください。 12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。
		特 定 非 営 利 活 動 法 人 旭 雅 楽 会	毎月1・15・28日：午後6時～、第2・4日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社 一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしております。
		一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター 市民の皆様が親しまれる楽団を目指し、日々、練習や演奏活動に取り組んでいます。
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター 音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを！
		一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	月2回 土曜日：午後5時30分～ 日曜日：午後1時15分～ 一宮スポーツ文化センター・木曾川文化会館 リハーサルにより合奏能力を高め、年1回11月に尾西市民会館にて定期演奏会を行います。
		フ ァ ミ リ ー ア ン サ ン プ ル お と の は	毎週水曜日、土・日（月2回）：午前9時～ 木曾川体育館 子育て中のお母さんたちが中心になって活動しています。音楽を通して子どもたちに楽しい！の記憶を！
		一 宮 舞 踊 協 会	越智バレエ団 KSP STUDIO（日・火曜日） 佐々バレエ団 本部（月・火・水・金・土曜日） 糸尾バレエ団 下沼町（日～土曜日） 日舞吉利枝会 一宮スポーツ文化センター（日曜日） 日舞こま希久会 中町（日・月・木曜日） プッチェルム（バレエ） 大和町馬引宮裏（火・木・金・土） 幼児から大人まで、クラシックバレエ、日舞の古典を楽しく稽古しています。
		新 舞 踊 あ す か 会	事務局へお問い合わせください。 歌謡曲や古典舞踊、民謡の曲にあわせ日々稽古に励み、秋の尾西芸能祭に向けて頑張っています。
芸 能 部	舞 踊 部 門	坂 東 流 百 の 会	毎月第1・2（又は3）木曜日：午前9時～ 尾西文化広場または講師宅 H27年に10周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。
		芸 能 部 門	一 宮 民 俗 芸 能 連 盟
	茶 道 ・ 華 道 部 門	同 派 会	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
弥 生 会		事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
茶 道 表 千 家		事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
茶 道 裏 千 家		事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。	
一 宮 華 道 連 盟		事務局へお問い合わせください。 華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。	
社 会 部	茶 道 ・ 華 道 部 門	同 派 会	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		弥 生 会	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 表 千 家	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問い合わせください。 7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問い合わせください。 華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。



「サーカス」 三輪 修

加入団体の催し

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)50002

日時▼6月7日(土)・8月9日(土)

9月13日(土)・10月11日(土)

11月8日(土)・12月13日(土)

午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『能・狂言面の制作』

【問合せ先 一面会】

☎(71)2716

日時▼6月14日(土)・28日(土)

7月12日(土)・26日(土)

8月9日(土)・23日(土)

9月13日(土)・27日(土)

10月11日(土)・25日(土)

11月8日(土)・15日(土)

12月13日(土)・20日(土)

午前9時30分〜正午

会場▼アイプラザ一宮 第5会議室

内容▼実地指導します。(初心者歓迎)

参加料▼月3,000円

申込み▼当日直接会場

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼6月15日(日)・8月17日(日)

9月14日(日)・10月12日(日)

12月14日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(85)7074

日時▼6月22日(日)・7月27日(日)

8月24日(日)・9月28日(日)

10月26日(日)・11月23日(日)

12月21日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3日前までに電話で生涯学習課

☎(85)7074

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼7月1日(火)・9月2日(火)

10月7日(火)・11月11日(火)

12月2日(火) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。

(初心者歓迎)

参加料▼年3,000円

申込み▼当日直接会場

『七夕まつり 狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)50002

日時▼7月12日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼事前投句の兼題句の中から互選により優秀作を表彰します。

参加料▼500円

『おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第52回学生書道展・第31回選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎090(42665)6098

日時▼7月12日(土) 午後1時〜4時

13日(日) 午前10時〜午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位入賞作品、役員と指導者作品を展示します。

入場料▼無料

『七夕まつり 短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼7月13日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼参加者による互選、批評会を行います。

参加料▼500円

『第18回記念 プルシアンブルー絵画展』

【問合せ先 プルシアンブルー】

☎090(2619)8010

日時▼7月16日(水)〜20日(日)

午前10時〜午後4時

(20日は午後3時まで)

会場▼玉堂記念木曾川図書館

内容▼講師の大島麻琴先生の指導のもと、美術愛好家15名による風景画など水彩画を中心に展示します。

入場料▼無料

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月17日(木)〜20日(日)

午前10時〜午後5時(20日は午後4時まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼一宮写真協会とその写真の日頃の思いを込めた写真を展示

入場料▼無料

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼7月20日(日)・8月17日(日)

9月21日(日)・10月26日(日)

11月16日(日)・12月21日(日)

午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月末(必着)までにハガキにて、参加希望日・当季雑句2句(初参加の方は希望者のみ)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・参加経験の有無を記入の上、送付

(〒491-8501 本庁舎生涯学習課)

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎090(2346)0313

日時▼7月26日(土)、27日(日)

午前10時〜午後3時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼700円(前売券 600円)

『一宮市民バンド 七夕まつり2025』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎080(5102)8611

日時▼7月27日(日)

午前10時30分〜午後3時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼「一宮市民吹奏楽団」・尾西ウインドオーケストラ・「ファ

ミリーアンサンブルおとのは」ほか、市内の団体が合同

で演奏会を行います。

入場料▼無料

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月2日(土) 午後6時30分〜

会場▼石刀神社(浅井町黒岩)

内容▼山車に550個の提灯を飾りつけ、お囃子と共に引き回します。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月3日(日) 午前10時〜

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市指定有形民俗文化財の文楽人形の虫干しをします。人形の実演もあり。

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月16日(土)

午後5時〜(予定)

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ回転させながら、笛や太鼓のお囃子に合わせて境内を練り歩きます。

この「いちのみやの芸術文化」は、今年度の編集委員7名により編集されています。

【編集委員】 ※順不同・敬称略

・浅井 英仁 ・木全 修

・小島 祥子 ・田中 石雲

・林 節子 ・光崎 賢治

・安江 たつよ



いちのみや 民俗芸能のつどい

8/24日

正午～
尾西市民会館

入場
無料

【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、真清伶人会、宮後住吉踊保存会、
島文楽保存会、機織唄保存会、瀬部山車・臼台祭保存会、
北方ばしょう踊保存会



一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。

『いちのみや文芸2025』作品募集

市民の皆さまから文芸作品を募集します。お寄せいただいた作品を文芸集にします。ぜひご応募ください。詳しくは生涯学習課などで配布する募集要項をご確認ください。

1. 募集種目 ※一人3種目以内①随想・随筆②現代詩③漢詩④短歌⑤俳句⑥川柳⑦狂俳
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している方
3. 応募方法・締め切り 【郵送】〒491-8501(住所不要)一宮市芸術文化協会『いちのみや文芸』係(市生涯学習課)まで送付。6月27日(金)必着。

【市ウェブサイト】[ID1066348]を確認の上、6月30日(月)23:59までに、作品データを送信。



合唱講習会

初心者向けに、正しい発声で楽しく合唱の基本から学びます。みんなで一緒に歌い、合唱を楽しみましょう♪
日時 8月20日～10月15日の水曜日(9月24日を除く)
午後2時～4時(8回)

会場 木曾川文化会館

講師 若井 雄司さん (伴奏:山田 晶子さん)

定員 40名

受講料 2,500円(一宮合唱祭(10月19日(日)開催)の参加料500円を含む)

申込み 6月下旬に一宮市ウェブサイト

[ID1065604]などで案内します。



秋の 市民美術教室の お知らせ

対象 市内在住・在勤・在学の方

会場 一宮スポーツ文化センター

7月下旬に、一宮市ウェブサイト
[ID1064952]などで各教室の詳細や
申し込み方法をお知らせいたします。



染色「初めての型染」

日時 9月16日～10月14日の火曜日(9月23日を除く)
午後2時～4時(4回)

内容 型染の技法で日本手ぬぐいを染める初心者向けの教室です。

講師 林 節子さん

(一宮美術作家協会・中部染色作家協会)

定員 10名(抽選、初参加の方優先)

受講料 3,000円(教材費含む)

気軽に楽しく水彩画

日時 10月2日～11月6日の木曜日
午後2時～4時(6回)

内容 身近な題材を使って水彩画の基本的な技法を学ぶ、初心者向けの教室です。

講師 井上 雅夫さん

(一宮美術作家協会・日本美術家連盟会員)

定員 24名(抽選、初参加の方優先)

受講料 3,900円(教材費含む)

【題 字】武 山 翠 屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213